

# 『第61回 日本学生科学賞県審査結果』

「日本学生科学賞」は、中学校と高等学校の生徒を対象とした科学自由研究コンクールです。未来の優秀な科学者を生み出すことを目的に、1957年（昭和32年）に創設された伝統のあるコンクールです。

来年度も、中学校、高等学校ともに今年度以上の多数の応募を期待しています。

応募に関する詳細は、[日本学生科学賞のホームページ](#)をご覧ください。



今年度の長崎県大会の審査結果は以下の通りです。

## 中学校の部

- ◆ 最優秀賞 該当作品なし
- ◆ 優秀賞 該当作品なし
- ◆ 佳作 1点



	作品名	学校名	団体・学年・氏名
佳作	浮き沈みで分かる密度の大小	平戸市立野子中学校	1年 柴山 きらら

## 高等学校の部

- ◆ 最優秀賞 2点
- ◆ 優秀賞 該当作品なし
- ◆ 佳作 1点



	作品名	学校名	団体・学年・氏名
最優秀賞	キクイモの機能性解明と食品開発	県立長崎南高等学校	土橋バイオグループ(9名) 代表 3年 内野 菜緒
最優秀賞	野菜天然色素の抗菌効果の可能性について	県立諫早農業高等学校	食品科学部(19名) 代表 3年 木村 明里
佳作	魚の食性を横断的に見つめる	県立壱岐高等学校	壱岐 魚の食性研究グループ(4名) 代表 2年 小田 伊武希